

患者の意向を尊重した意思決定のための相談員研修会

【プログラム】

【事業内容】

人生の最終段階における医療・ケアに関する患者の相談に適切に対応できる体制を強化するため、「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」に基づいた「意思決定支援教育プログラム(E-FIELD)」を活用した相談員研修会を、全国8ブロック16か所で実施。

【概要】

日時：令和2年1月26日（日） 8:30～17:30

場所：大分県庁 正庁ホール

実施主体：神戸大学

（プロジェクトリーダー：神戸大学医学部附属病院
緩和支援診療科 特命教授 木澤 義之氏）

参加職種：医師1名を含む、医療・ケアに3年以上携わる者の多職種チーム（医師、薬剤師、看護師、MSW、作業療法士、社会福祉等）

県内参加医療機関：10機関35名

時間	プログラム	内容
8:30		受付・アンケート記入
9:00	イントロダクション	事業概要・目的の説明
9:15	講義	「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」の解説
9:35		休憩
9:45	アイスブレイキング	
10:00	講義・グループワーク	STEP 1：患者本人の意思決定する力を考える
11:10	講義・グループワーク	STEP 2：患者本人の意思の確認ができる場合の進め方
12:05		休憩
12:15	講義	アドバンス・ケア・プランニング
12:50		昼食
13:35	講義・ロールプレイ	ACPの実践を学ぶ もしも、のときについて話し合いを始める 代理決定者を選定する 治療の選好を尋ね、最善の選択を支援する
15:05		休憩
15:15	講義	STEP 3：患者自身の考えを推定する
15:35	講義	STEP 4：患者にとって最善の診療方針について合意する
15:55	グループワーク	STEP 3・4
17:10		質疑応答・修了式・アンケート記入